会　議　録

会議名	第１５回松本地域公共交通会議・第１５回松本地域公共交通協議会
日　時	令和８年１０月９日（金）１３時３０分から１４時１０分まで
場　所	松本市役所　東庁舎３階　議員協議会室
次　第	１　開　　会 ２　あいさつ ３　会議事項 ⑴　松本地域公共交通会議 【議案第１号】　松本市営バス四賀循環線の自家用有償旅客運送における区域設定について 【議案第２号】　山形村ＡＩデマンド交通実証運行に伴う実施内容の一部変更について 【報 告 事 項】　福祉１００バス助成事業におけるキャッシュレス化への対応について ⑵　松本地域公共交通協議会 【議案第１号】　松本地域公共交通協議会規約等の一部改正について 【報 告 事 項】　信州型広域バス路線支援制度運行経費補助金の申請について ４　そ の 他 ５　閉　　会
資　料	１　次第 ２　会議資料

（敬称略）

出席者	【会　長】	髙瀬　達夫	（信州大学工学部）
	【委　員】	渡邉　徳之	（国土交通省北陸信越運輸局長野運輸支局）
		酒井　裕司	（長野県企画振興部交通政策局交通政策課）
			（代理：若宮　武尊）
		柄澤　裕美	（松本地域振興局企画振興課）
		小西　陽子	（松本建設事務所維持管理課）
		安達　春貴	（松本警察署交通第二課）
			（代理：荻原　岳史）
		森　敬芳	（東日本旅客鉄道株式会社長野支社企画総務部）
		斉藤　敦	（アルピコ交通株式会社）
		三澤　洋一	（松本地区タクシー協議会）
		大内　清彦	（アルピコ労働組合松本電気鉄道支部）
		百瀬　佳典	（松本市民生委員・児童委員協議会）
		下田　みか	（松本市ＰＴＡ連合会）
		新居　禎三	（松本地域公共交通協議会山形村部会）
		小林　弘之	（松本地域公共交通協議会朝日村部会）
		堤　岳志	（山形村）
		中村　高志	（朝日村）
		柳澤　均	（松本市）
欠席者		小林　謙二	（国土交通省関東地方整備局長野国道事務所）
		大村　進太朗	（国土交通省北陸信越運輸局）
		伊藤　亮二	（松本商工会議所）
		細川　明彦	（松本地区ハイタク労働組合会議）
		野村　茂	（松本市町会連合会）
		小口　雄策	（中信地区高等学校長会）
事務局		松本市　交通部　公共交通課	

議　事	1　松本地域公共交通会議 ⑴　協議事項 ア　議案第１号　松本市営バス四賀循環線の自家用有償旅客運送における区域設定について ○　事務局：　資料に基づき説明 意見なし ＜議案第１号について了承＞ イ　議案第２号　山形村ＡＩデマンド交通実証運行に伴う実施内容の一部変更について ○　山形村：　資料に基づき説明 ○　委　員：　実証期間は令和９年３月まで延長されるが、「交通空白」解消緊急対策事業補助金の実績報告書提出期限は２月２９日である。留意されたい。 ＜議案第２号について了承＞ ⑵　報告事項　福祉１００円バス助成事業におけるキャッシュレス化への対応について ○　事務局：　資料に基づき説明 ○　会　長：　運用時の乗務員の対応が煩雑になることが想定される。トラブル対応策は考えているか。 ○　事務局：　通勤・通学定期の購入の最繁忙期を避け、２月２６日までの期間としている。 ○　会　長：　窓口業務について配慮していることは承知した。車内での乗務員のトラブル対応についても検討が必要。 ○　委　員：　乗務員の車内対応として、トラブル発生時は営業所へ連絡し対応することとしているが、トラブルが多発した場合には、定時運行に影響が生じる可能性がある。また、乗務員不足などで集合研修が難しく、動画による個別研修が主であるため、乗務員の負担が増している。可能な限り乗務員の業務を簡素化してほしい。 ○　会　長：　乗務員から不安点を集約し、松本市へ伝えてはどうか。松本市がトラブルの対応策を事前に検討し乗務員に周知するとともに、本件に係る乗務員の業務簡素化を図るよう努めてほしい。 ＜報告事項について集約＞ 2　松本地域公共交通協議会 ⑴　協議事項 ア　議案第１号　松本地域公共交通協議会規約等の一部改正について ○　事務局：　資料に基づき説明 ○　会　長：　予算額が大きくなってきたため、監査体制が一層整備されることは望ましい。 ＜議案第１号について了承＞

	イ　報告事項　信州型広域バス路線支援制度運行経費補助金の申請について ○　事務局：　資料に基づき説明 ○　委　員：　山形線に対する運行補助が充実するが、運賃を下げることはできないか。山形村民にとっては運賃が高い。 ○　事務局：　本件補助金と運賃について直接関係はなく、別途検討が必要な事柄である。 ○　山形村：　紙回数券ラクーポンに対して２分の１の補助を行っていたが、回数券の廃止や定期券のキャッシュレス化に伴い、現在村民に対する補助はない。今後山形村の事業として検討したい。 ＜報告事項について集約＞ 以上